

# 金沢版総合戦略（第2次）の推進について

資料 4

## ポストコロナ時代

- ◇ウィズコロナ(1~2年)
  - ・首都圏等での一極集中によるリスクの再認識
  - ・リモートワークの普及
  - ・AI、ICT技術の導入の広がり（官公庁など）
  - ・医療体制の整備等、安全に関するニーズの高まり
  - ・外国人旅行客の大幅な減少
  - ・マイクロツーリズムへの注目

- ◆アフターコロナ(3~5年)
  - ・二拠点での居住・労働・就学
  - ・リモートワークの定着（拠点の選択理由の変化）
  - ・通勤等、交通機関利用の変化
  - ・消費行動のオンライン化、キャッシュレス化の定着
  - ・官民サービスの多くがデジタル化

### 第2次金沢版総合戦略（基本目標と主要施策）

#### 【基本目標1】若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる

- (1) 妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくり
- (2) 結婚の希望をかなえるための環境づくり
- (3) 仕事と家庭の両立や地域活動等への参画を促進する働き方改革の推進

#### 実施にあたり留意すべき視点（例）

- ・働き方・暮らし方の多様化への対応（リモートワーク等）

#### 【基本目標2】金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

- (1) 高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進
- (2) まちの魅力を生かした移住・定住の促進
- (3) まちに愛着を持つ人材の育成
- (4) 金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大

- ・コロナ禍において、大学生、転勤者等がまちの魅力に触れられる環境づくり
- ・サテライト拠点の誘致促進
- ・リモートワークや二拠点生活を見据えた移住・就学施策の推進
- ・WEBによる移住定住促進や関係人口の創出

#### 【基本目標3】イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

- (1) 金沢の文化と産学官の叡智の融合
- (2) 持続可能な観光の振興
- (3) 金沢ブランドを活用した独自産業の創出
- (4) 多様な主体との連携による新分野産業の創出

- ・国内、圏域内の需要取り込みのための産業創出
- ・オンライン消費に対応した観光資源の開発
- ・デジタル人材の育成

#### 【基本目標4】周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる

- (1) 圏域連携による経済・生活圏の形成
- (2) コンパクトシティの形成
- (3) コミュニティ環境の充実
- (4) 元気な中山間地域の形成
- (5) あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

- ・高齢者層へのネットリテラシーの普及
- ・コロナ禍における高齢者の健康維持
- ・コロナ禍におけるコミュニティ維持
- ・公共交通の持続性の確保（乗客減による悪循環の防止）